

宮城県精神保健審議会（令和6年11月3日（水）） についての私（我妻睦夫）の意見書

今日の審議会の議題は、県立名取医療センターの建替えの方向性についてということですが、私の意見としては、
何故、初めに、名取医療センターに入院された方々や、
通院されている方々の当事者の意見をきいてから、ことを
進めるべきであったと思います。政治や行政に携わる
方々が、真しに一番困っている方々や悩みを抱えて
おられる方々に、耳を傾けるべきであったと思います。

そのために、政治や行政、経費があるのだと思っておられる
その原点到立ち返ってみれば、名取市に、医療センターと建替
えのことが最も妥当であると思います。

私は、名取市内に住んでいます。私の知っている人でも、
医療センターに通院されている人が、結構おられます。
仙南医療圏にとって名取医療センターは、唯一の24時間
対応しているだけ、専任病院です。

私が審議委員になった4年以上経ちますが、こういった
精神保健審議会では、話しあわれて、計画を立てたことが
具体的に、どう変わったかということもみずと仙南精神
医療圏をみれば、殆んど変わっておられません。地域包括
支援も、存続に等しいです。

県立名取医療センターの問題も、しかし、土地や、金の問題も
あるとは思いますが、心の悩みや、病にかかった当事者の声を
是非、政治や行政に携わる方は、一番大切にしたい
と思います。さらに言えば、地域包括支援センターの構築
のための具体的に予算をつけて、それによって具現化して
いくように願うものです。最後になりますが、私の場合は、
新築とい、名取医療センターが富谷に移転するに反対致します。